

平成27年 11月 7日

## プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人クリエイティブ・あいち

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

### 1. プロジェクト名

東日本大震災被災体験者による南海トラフ大地震防災減災シンポジウム

### 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

震災直後より、4年間の活動を通して、被災地弱者支援活動等の成果を、愛知県にて情報発信をしてまいりました。その一環として、防災意識を高めてもらうためのシンポジウムを開催し、その活動が、愛知県、名古屋市、大府市等の行政機関、名古屋市・大府市の社会福祉協議会に認められ、参加者より、各地域での開催の要望を多数お寄せいただきました。その要望を受けて、南海トラフ大地震の備えに対する意識の高まりを感じたため、活動を継続して行っていく必要性があります。

### 3. プロジェクトの内容 300文字まで

当団体が連携して被災地弱者支援活動を継続している宮城県石巻市のNPO法人DoTankみやぎが、制作の発案、撮影協力及び出演している3.11東日本大震災ドキュメンタリー映画『Pray For Japan〜心を一つに〜』(文科省推薦映画・UNHCR 難民映画祭出品作品)の上映を行い、震災直後の様子を理解していただきます。上映後に、NPO法人DoTankみやぎから防災・減災、被災地の現状、震災から4年が経った被災地の問題等、震災が起こる前に備えるべきことについて講演を行います。また、講演後に、ディスカッションを行い、愛知県で、防災・減災の意識をより高めてもらいます。

### 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

東北の被災状況だけでなく、宮城県と愛知県との比較を用いることで想像をより鮮明にさせていただくことができたと思われれます。また、講演の中身を全体的にするより一つのテーマを重点にすることでより深く伝えることができたと思われれます。広報に関してはこれまでのシンポジウムの反省点を踏まえ関係各所へのチラシ掲示依頼活動を強化と、メディアへのPRも内容をより明確に伝えたことでプロジェクト開催に関する質問が寄せられてきたことと、開催当日には毎日新聞社の取材を受け、翌日の新聞記事にも掲載していただきました。

### 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

参加者からたくさん質問をいただいたことがしっかり聞いていただけたことだと実感しております。今後も継続して開催してほしいとの声だけでなく、次回開催する際には協力したいとの声もいただき、確実に防災減災への意識を高めていただけた方が増えていっております。同時に、このシンポジウムの中身もより一層良く、伝わりやすくしていこうと思っています。メディアに掲載されたこともこのシンポジウムを認めてもらえたことだと受取り次回開催に向けての励みとなりました。

### 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

# 東日本大震災 被災体験者による 南海トラフ大地震 防災・減災シンポジウム

～3.11の悲劇を繰り返さないために、石巻からの警鐘～



震災前の中瀬



壊滅的被害を受けた中瀬



有名な門脇地区の看板



被災した自衛隊機



## 基調講演:遠藤 学氏プロフィール

NPO法人DoTankみやぎ理事長 昭和49年石巻市生 東北大学大学院法学研究科博士課程後期中退(法学修士)  
市民活動歴15年以上。国際政治学から地域コミュニティの再生を急務と感じ、震災以前から石巻のまちづくり活動へ。  
3.11東日本大震災では、石巻で被災し、避難所経験をしながらも、他の避難所の救援活動に始まり、復興活動継続中。  
独立行政法人福祉医療機構シンポジウム、法政大学、神奈川大学、成蹊大学、愛知県立大学、野田市郷土博物館、  
市外・県外講演多数。

## シンポジウム・タイムスケジュール

- 13:00 ~ 開会挨拶
- 13:10 ~ 震災ドキュメンタリー映画『PRAY FOR JAPAN ～心をついに～』上映
- 14:00 ~ 休憩
- 14:10 ~ 基調講演「人災を防ぐための地域づくり～災害の時こそ問われる地域力～」  
講師 遠藤 学氏 (NPO法人DoTankみやぎ理事長)
- 15:10 ~ 休憩
- 15:20 ~ 質疑応答
- 16:00 ~ 閉会



2015年10月25日(日)

12:30開場 13:00～16:00

日本特殊陶業市民会館  
(名古屋市市民会館)  
名古屋市中区金山1丁目5番1号

第一会議室

主催

NPO法人クリエイティブ・あいち  
<http://creative-aichi.wix.com/creative-aichi>

特別協力

NPO法人DoTankみやぎ NPO法人日本心理カウンセラーズ連盟  
<http://npo-dtm.com/> <http://www.lepetitcourage.com/>

後援

愛知県、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

お問い合わせ

長岡 080-5120-1317 [creativeaichi@gmail.com](mailto:creativeaichi@gmail.com)



本事業は、真如苑「shinjo プロジェクト」市民防災・減災助成を受けて実施しています。

# 南海地震の教訓に

名古屋でシンポ

## 震災・石巻の経験学ぶ

東日本大震災で被災した宮城県石巻市の経験を学ぶシンポジウムが25日、名古屋市中区の日本特殊陶業市民会館で開かれた。

DoTankみやぎの遠藤学理事長が、被災者の需要や現状に社会・法制度が合致していないことや、ボランティア団体が活動内容を地元などに引き継がずに撤退し、支援を受けていた被災者が孤立したことなどを紹介した。さらに「(地元は)自殺が増え、心のケアなど専門家の支援が必要とされている」と、継続支援の必要性を説いた。

大府市のNPO法人「クリエイティブ・あいち」が、共同して石巻市で支援活動をすすめる「DoTankみやぎ」(石巻市)、「日本心理力ウンセラズ連盟」(名古屋市)

また石巻市を中心とした大震災のドキュメンタリー映画「PRAY FOR JAPAN」を上映、被災地の現状を紹介した。

【清藤天】

「集う@あいち」は休みました。

被災後の写真を使いながら課題などを説明する遠藤学理事長。名古屋市中区で

